

## 大石田の新そばまつり <大石田 HP より><http://www.town.oishida.yamagata.jp/>

新そばの収穫を祝い、大石田のそばを広く知ってもらうために、毎年開催されている新そばまつり。この日のために育てられた大石田町の在来種「来迎寺在来」という粉で作った、「挽きたて・打ちたて・茹でたて」の三拍子に「採れたて」「心立て」が加わった美味しいそばを賞味できます。

- ◆日時：2009年10月24日(土)・25日(日) 入場時間は両日とも午前11時～午後1時30分
- ◆会場：クロスカルチャープラザ「桂桜会館」特設会場(役場前) ※車の場合は役場駐車場を利用
- ◆内容：新そばの提供 / そばがきコーナー / そば打ち実演

「酒おおいしだ」の試飲会 / 大石田のう～んまいもの展 / 大石田満喫! 大抽選会

- ★そばを食べるにはチケット(前売券:1,000円(当日券:1,200円))が必要です。

※チケット1枚に、そば引換券が2枚付いています。

※引換券1枚で、そば又はそばがきを1杯食べられます。

※残った引換券は、大石田そば街道全店で割引き特典券として使えます。

※そばがきは、別途500円でも食べられます。

- ★チケット(前売券)の販売箇所 9月19日(土)より販売開始

【町内】大石田町役場・みちのく村山農協大石田営農センター・大石田町商工会・JR大石田駅観光案内所・大石田町地域振興公社(あったまりランド深堀)・大石田そば街道振興会全店・山形銀行大石田支店・新庄信用金庫大石田支店・北郡信用組合大石田支店

【山形市】大沼本店「プレイガイド」【仙台市】仙台フレンド薬局・藤崎「プレイガイド」

- ★近くでチケットを購入できない場合は、電話や電子メールで申し込むことができます。

- 1、新そばまつり事務局へ電話または電子メールで申し込む

※住所・氏名・電話番号・必要なチケットの種類と枚数(例 25日のチケットを2枚)を明記

※申込締切 10月23日(金)午後5時

- 2、事務局から、チケット引換券(ハガキ)が送られてきます。

- 3、新そばまつり当日、チケット引換券(ハガキ)を受付に出し、チケット(前売り券の価格)を購入。

- ◆問い合わせ・申し込み先:

かおり風景100選「大石田町そばの里」推進協議会 新そばまつり事務局  
(大石田町役場産業振興課商工観光グループ)

TEL: 0237-35-2111 内線145・146

電子メールアドレス: syokoka@town.oishida.yamagata.jp



## 大石田を楽しもう倶楽部 秋の旅行のお知らせ ~秋の駒籠をたのしもう!~

- ★11月7日(土)・8日(日)・9日(月)で日程を組みました。

(JR東日本「大人の休日倶楽部」の特典を利用すると、3日間乗り放題12,000円です)

- ★8日(日)は「コロボックル」に宿泊します。

大石田では、大石田を楽しもう倶楽部交流会と温泉と駒籠散策など予定しています。

\*参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。詳細打ち合わせします。



## コロボックルに泊まったよ~

### 会員投稿

9月19・20日、コロボックルを訪問しました。

2004年にスウェーデンに環境学習のツアーに行った仲間と同窓会で総勢10名。仙台、横浜、東京などから集まりました。

私は、何年かぶりにコロボックルに泊まって、我が家に帰ったようなほっとした気持ちを味わいました。というのも、子育て中、

夏休みには、毎年といつていいほど訪れていたからです。ログハウス一軒

丸ごと家族で貸し切り、木のぬくもりに包まれて過ごす贅沢を満喫してきました。到着すると、海藤さんの奥様の「遠くからようこそ」というメモに迎えられ、漬物やお野菜が届いてまるで実家に帰ったような気分。

身も心もまったりとくつろいで……。またコロボックルに泊まれた!という喜びをかみしめました。

◆19日夜は、海藤さん、田中さんと一緒にコロボックルでバーベキューをしながら交流会。海藤さんが若いころ、都会に出稼ぎに行き感じて「時計を背中にしょってるような生活はいやだ」という気持ち。そして大石田に帰って、農業で生きていこうと決心したこと。養豚を始めて都会に出稼ぎにいかずにここで農業をしよう、豚も自然の生理に合った育て方をして、消費者の顔が見える産直をやりたいと生協と付き合い始めたことなど、これまで知らなかったお話を伺いました。皆、海藤さんの豚肉のおいしさに納得。参加したメンバーからは、「非日常の時間を過ごした」、「ログハウスのベッドにもぐりこみ、だんだん自分がコロボックルになって行く不思議な感覚で眠った」などの感想も。

◆翌日20日の午前中は、田中さんに案内していただき、駒籠の歴史探索ウォーク。コロボックルの裏にある白山神社、縄文時代の土器の出る場所。海藤さんの豚舎の前を通り名水「イカゴ清水(すず)」。野尻川のほとり。平安時代の「水駅」と推定される遺跡発掘現場などを案内していただきました。大石田の奥の深さに触れ、最後に田中さん達が育てたヒマワリの種から油を絞る実演も。絞りたてのヒマワリ油の味見もしました。



◆昼、星川さんが、ひょっこりコロボックルに来てくださって「畑で枝豆と里芋を掘らないか〜」と。さっそく、コロボックルから道を隔てたすぐのところにある星川さんの畑で、枝豆もぎと里芋堀りの収穫体験。どっさりお土産にいただきました。どちらも、駒籠の人情のこもった味がしました。

駒籠のみなさまの心温かなおもてなし、ありがとうございました。

(馬場悦子)

○会の活動詳細はHP <http://oishidaclub.iinaa.net/> をご覧ください。

